



# 高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



## 20年ぶりに再会したアルカン君

廣瀬 明正 会員



人間は年を重ねてきますと、たまに何十年ぶりという出来事にめぐりあうことがあります。今年になって、わたし自身もそうした体験をしました。ひとつは6月に水戸へ旅行した時に、昭和48(1973)年の第3回「Cアジア青年の船で一緒だった水戸」Cのメンバーと35年ぶりに再会したことです。もうひとつは昭和63(1988)年に来日し、わが家でホームステイしたトルコ人学生との20年ぶりの再会です。

本日は、みなさんにこのトルコ人との出会いについてのお話をさせていただきます。3月末に生田神社の宮司でもある加藤隆久パストガバナーより電話がありました。加藤氏は、第37回神道海外交流の宗教事情視察に奥様と参加され、3月7日～14日の一週間トルコへ旅行されたそうですが、「日本語が堪能なアルカンという現地のガイドが、神職の廣瀬さんに世話になったことがあるというのを聞いて驚いた。わたしは廣瀬君ならよく知っているし、彼の息子も生田神社に勤めていたことなどを話した。近いうちに神戸に来るといっていたから、ぜひ会ってやってほしい。」という知らせでありました。

わたしは、アルカン君の名前を聞いて大変なつかしく思いました。かつて、第15回神道海外交流に参加して、昭和63年2月21日～3月4日の10日間トルコに旅行したことがあります。途中アンカラ大学を訪問し、神道書籍50冊を贈呈しました。当時、同大学の日本文化研究科の学生だったアルカン君にはじめて会ったのもこの時です。彼の実家は絨毯の販売店を営んでいたため、イスタンブールでも顔を見せました。そして、国際交流サービス基金の招待学生として、8月の末に訪日するといいますので、わたしの名刺を渡し、来日したらかならず連絡するようにと別れたのでした。

それから半年後の9月19日、約束どおりアルカン君は高砂へやってきました。数日間滞在了りましたが、近隣の市長にも案内し、高砂市にも訪問しましたが、残念ながら生田神社にも来られませんでした。加藤氏とは会えませんでした。

アルカン君は日本の演歌が好きで、夜になるとスナックのカラオケで熱唱しましたが、得意な歌は五木ひろしの「そしてめぐり逢い」などでした。夢は外交官になることだとい

っていましたが、旅行社を立ち上げ手広く事業を展開しているとは知りませんでした。

そして、加藤氏のセッティングで、4月22日に生田神社でアルカン君と対面。つづいて近くのトルコ料理店で会食し、昔話に花が咲きました。その席に貝原俊民前知事も来られました。訳を聞きますと、1999年8月に発生したトルコ大地震の救援と見舞いのために、被災経験のある兵庫県知事としてトルコを訪問した際に、通訳などの世話をアルカン君が担当したということで、知事とは旧知の間柄でした。アルカン君いわく、「世間はせまいですネ」と。まさに人間関係はその通りだと思いました。

かかる機会を与えて下さった加藤パストガバナーに改めて感謝する次第です。

### 神戸新聞 昭和63年(1988)年9月21日



布谷助役から謡曲「高砂」の扇子を贈られるアルカンさん(左)と高砂市役所で

「高砂」を描いた扇子をアラカンさんにプレゼントした。

アルカン君は「日本人はどこへ行っても忙しそう。のんびりしたところがみられない。でもそれが活気を生み経済的な発展を遂げる要因になっているのだから」と語っていた。同助役は謡曲「高砂」を描いた扇子をアラカンさんにプレゼントした。

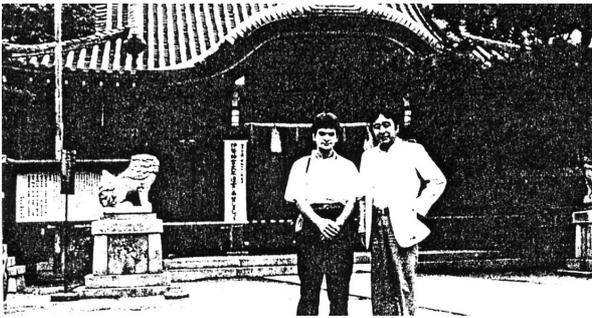


国際交流サービス基金の招待学生として訪日しているトルコ・アンカラ大学日本語学問している。高砂を訪れたアラカンさん(左)は、今年一月に神道国際友好会の一員としてトルコに行った高砂荒井神社(右)真、広瀬明正さん(左)の答礼として。

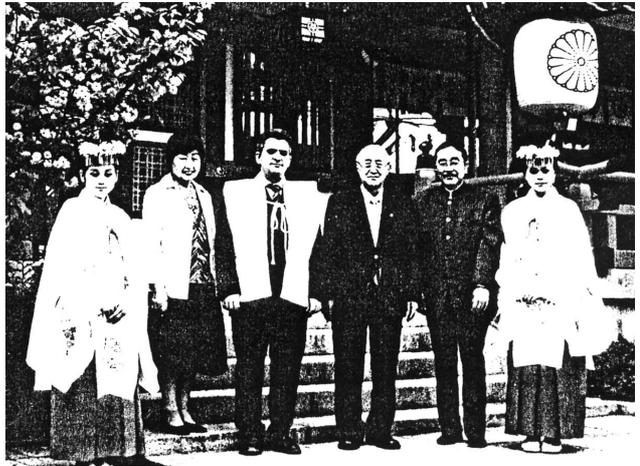
●トルコを訪問  
 全国神道国際友好会の幹事長として二人の神官とともにトルコを親善訪問した高砂市の荒井神社祭主、広瀬明正さん（四三）高砂市荒井町千鳥二一三三二。二月下旬から十日間行ってきました。トルコはイスラム教の国で、僧侶が国家公務員であるのには驚きました。古い歴史を持つ国で、ギリシャ時代の遺跡や神殿の跡などがたくさんありますが、未発掘のようです。日本については関心があるようでした。その割には日本の書物がほとんどなく、ほとんどなく神道の本を五十冊寄贈してきました。夏にはアンカラ大学の学生が来日、私の家へホームステイします。今後も友好を重ねたいものです」



ゆうとあい



昭和63（1988）年9月20日荒井神社にてアルカン君と小生



平成20（2008）年4月22日生田神社にてアルカン君と加藤パストガバナー・小生



President

会長の時間

来週は、「新世代の主張」が青年の家で開催される関係で、本日がこの例会場での、平成20年最後の例会となりました。

平成20年は、実に激動の年でした。特に私個人にとりましては、7月に高砂青松ロータリー・クラブ会長への就任という大事件がございました。岡本幹事、役員・理事の皆さん、各委員長の皆さん、それに多くのメンバーの皆さんに支えて頂きました。お陰を持ちまして、大過もなく中間点を迎えることができました。ありがとうございました。感謝しています。残る下半期も、よろしく願い致します。

ところで、外部に目を向けて見ますと、100年に1回、と言われる程に経済界が大混乱し、世界中が右往左往しております。

アメリカのサブプライムローンの破綻に端を発した世界の金融状況は、不安定の域を大きく超えてしまい、金融以外の実体経済にも大きな影響が出てきているようです。

また、日本の政界においては、従来からの諸々の課題に加えて、今回の経済危機への対応が切実に求められています。福田内閣に代わって、新しく麻生内閣が発足していますが、なかなか有効な施策が立案・実行できない状況のように見受けられます。

このように閉塞感が漂っているときにこそ、ロータリーの職業奉仕哲学をじっくりと見つめ直して、それぞれの事業或いは専門職務に反映させることが肝要と考えるのですが、如何なものでしょうか。そんなのは「建て前」に過ぎないと一笑に付す人も多いかと思いますが、謙虚な気持ちで今一度見つめ直すことも、価値有ることではないでしょうか。





Donation

## ニコニコ報告

### 鹿間 行雄

平成20年ホームでの最終例会を迎えました。みなさんには、大変お世話になりました、ありがとうございました。23日の「新世代の主張」よろしくお願ひ致します。

### 岡本 崇司・竹原 俊三

廣瀬さん、卓話楽しみにしています。

### 廣瀬 明正

本日は卓話をさせていただきます。

### 鹿間 虹美

次週は例会変更で新世代委員会担当の行事になります。設営などで会員の皆様方には大変お世話になりますがお協力下さい。

### 大森 千里

西田様よりすばらしいカレンダーをいただきました。私の病院では定位置に毎年かかっています。

### 植杉成一郎

廣瀬会員、先日はお世話になりました。また、写真を有難うございました。本日卓話を楽しみにしています。

### 小西 文孝

十二月も半ば残り僅かです。皆さんお身体ご自愛下さい。西田会員さん、カレンダーありがとうございました。

### 増田耕太郎・田水 敬雄・亀本 泰司

### 砂川 仁史

花を飾りましょう。



Secretary

## 幹事報告

### 第22回 通算1386回

#### 1. 回覧その他

第2680地区より「ロータリー財団地域セミナーハンドブック」と「第26回インターアクト地区年次大会報告書」が届いております。

相生ロータリークラブより週報が届いております。

高砂市学校保健会より「保健だより」が届いております。

Neighbor-club information

## 近隣クラブINFORMATION

| クラブ名          | 変更内容                       | 日 時・場 所         |
|---------------|----------------------------|-----------------|
| 加古川ロータリークラブ   | 休会(定款第6条第1節cによる)           | 12/30(火)        |
| 明石西ロータリークラブ   | 休会(定款第6条第1節cによる)           | 12/25(木)        |
| 〃             | 祝日のため休会                    | 1/1(木)          |
| 明石ロータリークラブ    | 休会(定款第6条第1節cによる)           | 12/31(水)        |
| 加古川中央ロータリークラブ | 休会(定款第6条第1節cによる)           | 12/25(木)        |
| 加古川平成ロータリークラブ | 休会(定款第6条第1節cによる)           | 12/31(水)        |
| 〃             | 新年移動例会のため                  | 1/28(水) 1/31(土) |
| 姫路南ロータリークラブ   | 休会(定款第6条第1節cによる)           | 12/29(月)        |
| 高砂ロータリークラブ    | 高砂青松R.C.との合同例会<br>新世代会議のため | 12/26(金)        |
| 〃             | 休会(定款第6条第1節cによる)           | 1/2(金)          |
| 加古川中央ロータリークラブ | 祝日のため休会                    | 1/1(木)          |

### プログラム予定

| 12月23日(火)                               | 12月31日(水)              | 1月7日(水)                | 1月14日(水)       |
|---|------------------------|------------------------|----------------|
| 新世代会議<br>於:高砂市青年の家<br>体育館<br>【新世代委員会担当】 | 休会<br>【定款第6条第1節(c)による】 | 休会<br>【定款第6条第1節(c)による】 | 卓話<br>増田耕太郎 会員 |

## 例会記録 2008. 12. 17 (水) 通算1462回

ソング 「奉仕の理想」

四つのテスト 会計監査 辻田 重恵

出席報告 12月3日 会員数 52名 欠席者 8名 出席率 82.22% <修正による>  
(この内出席免除者9名)  
12月17日 会員数 52名 欠席者 16名 出席率 64.44%  
(この内出席免除者9名)

### 播磨ゆかりの偉人伝 ②

#### 後藤 又兵衛 (ごとう・またべえ) 滅びゆく豊臣支えた武将

徳川家康から、こう誘われたという。「徳川方につくなら播磨一国を与えようぞ」。後藤又兵衛はこれを敢然とはねつけた。「武将として敗れようとする豊臣家をどうして見捨てられましよう」。大坂冬の陣が起きた慶長19(1614)年の話である。

戦国時代では“寝返り”は珍しくない。そんななか法外な恩賞を蹴ってまで滅びようとする側を支えた播磨武将の気概は、いまなお語り継がれている。

本名は基次(もとつぐ)。永禄3(1560)年、春日山城(福崎町八千種)を守る後藤家に生まれた。幼いころ父を亡くしたことから父の友人・黒田官兵衛に引き取られた。そこで6歳歳下の長男・長政から兄のように慕われた。

又兵衛19歳の時、摂津の大名・荒木村重が織田信長に謀反。又兵衛の叔父が村重についたことから黒田家から追放処分を受ける。その後、再び戻れたのは、長政が父・官兵衛に頼み込んだからだった。

それほど仲のよかった又兵衛と長政が、その後反目しあうようになるからなんとも皮肉だ。官兵衛が引退し長政が黒田家の当主になってから、それは拍車がかかった。

朝鮮征伐に長政とともに加わった又兵衛は豪傑ぶりを発揮して大活躍。ところが長政からほめられるどころか「黒田家の家臣と名乗らなかつたのは許せない」と叱責された。

また、関ヶ原の合戦でも手柄を立て東軍に属した黒田家を勝利に導いたが、二人の溝は深まるばかり。慶長11(1606)年、ついに又兵衛は一族を率いて黒田家を出た。その時47歳。浪人となって各地を転々とする。

又兵衛、最後の働き場は大坂の陣だった。冬の陣では大坂城に入城。家康の甘い誘いにも乗らず「大坂城五人衆」の一人として活躍。そんな又兵衛も元和元年の夏の陣で鉄砲隊に撃たれて歩行困難となり自害した。墓は鳥取市の京福寺にあり、松江城には又兵衛の鎧と槍が展示されている。

(主な参考文献=寺林峻・著「播磨百人伝」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)